

令和元年 9 月 5 日
照会先 健康局健康課
地域保健室
(担当・内線) 室長補佐 十川 (2332)
専門官 藤野 (2334)
(代表電話) 03-5253-1111
(直通電話) 03-3595-2190

報道関係者 各位

第 71 回「保健文化賞」受賞者が決まりました

保健衛生分野の課題に取り組む団体・個人を顕彰する「保健文化賞」の受賞者が決まりましたので、別添のとおり公表します。

今回が 71 回目となる「保健文化賞」は、昭和 25 年に創設されて以来、第一生命保険株式会社が主催し、厚生労働省、朝日新聞厚生文化事業団、NHK 厚生文化事業団の後援により毎年継続して実施しています。

今回の受賞者は、団体 10 件、個人 5 名です。

2019 年9月5日

第 71 回「保健文化賞」受賞者の決定について

第一生命保険株式会社(社長:稲垣 精二、以下「当社」)が主催する第 71 回「保健文化賞」の受賞者が別紙のとおり決定しました。

当社は、創業当時より生命保険業を通じた社会への貢献とともに、国民の健康、保健衛生の向上に努めてきました。1934 年に「保生会」を設立して当時の国民病であった結核予防に取り組み、戦後間もない 1950 年に衛生環境が悪化する中、わが国の保健衛生向上のためにお役に立ちたいと、保健衛生の分野における立派な業績と長年にわたるご労苦に感謝と敬意を捧げるために本賞を創設しました。

創設当時は結核や栄養不足など社会的に喫緊の課題である分野でのご活躍を対象としていましたが、近年では生活習慣病対策、高齢者や障がい者への福祉、海外医療や疾病対策など、その時代におけるさまざまな課題に、継続的に取り組んでこられた方々を顕彰させていただいています。

第 71 回となる本年度は、2019 年2月 1 日から4月 15 日の期間に募集を行い、団体・個人合わせて 52 件のご応募をいただきました。この度、審査委員による選考のもと、団体 10 件、個人5名の受賞者が決定しました。これまでの受賞者総数(今回を含む)は、693 団体、個人 357 名、合わせて 1,050 件にのびります。

贈呈式は本年 12 月に開催し、受賞者には、厚生労働大臣から表彰状、当社からは感謝状とともに賞金(団体 200 万円、個人 100 万円)が贈られます。また、受賞者は贈呈式の翌日、皇居に参内し、天皇皇后両陛下の拝謁を賜る予定です。

以 上

主催 第一生命保険株式会社

後援 厚 生 労 働 省

朝日新聞厚生文化事業団

NHK厚生文化事業団

第71回保健文化賞受賞者一覧

(別紙)

受賞者名	都道府県	業績
一般社団法人 仙台市薬剤師会	宮城県	薬と健康に関する啓発を長年実施したほか、薬局によるハートヘルスプラザ事業を展開し、市民の健康増進や認知症・うつ病の早期対応等、幅広い分野で健康づくりに取組み、市民の健康寿命の延伸に貢献している。
福島県食生活改善 推進連絡協議会	福島県	地域の健康課題や社会情勢に応じた食生活改善の活動を通じて、乳児から高齢者まで幅広い世代を対象とした食育を推進し、県民の健康的な食生活に対する意識や健康水準の向上に貢献している。
NPOアレルギー児を支える全国ネット 「アラジーポット」	東京都	医療現場のみならず社会一般にアレルギー疾患に対する正しい知識を普及させることを目的に活動을続け、患者と医療関係者などが対等のパートナーとしてアレルギー疾患治療の現状を改善していく道筋を切り拓くことに貢献している。
特定非営利活動法人 TABLE FOR TWO International	東京都	先進国の人々と、開発途上国の子どもたちが食を分かち合うという仕組みを提唱し、開発途上国の栄養状態改善や教育機会整備、先進国では健康増進や肥満防止に貢献している。
いしかわ骨髓バンク推進 ・はとの会	石川県	平成2年の設立以来骨髓移植のドナー登録増進を図るため、職域での集団登録会や献血ルームでの受付・説明、啓発のための語り部講演会、映画・芝居の上演、マスコミへのPRなどをボランティアで続け、骨髓移植の啓発に貢献している。
公益社団法人 鳥取県看護協会	鳥取県	職能団体としてその専門性を活かし、学校に出向いてのいのちの教育や、思春期相談等を行政や関係機関と連携し、15年間に亘り継続して行い、全国ワースト1位であった10代の人工妊娠中絶率の低下に大きく貢献している。
益田の医療を守る 市民の会	島根県	市民・医療機関・市議会・行政が一体となり、市民が安心して医療を受け暮らせるように益田市の医療を充実させていこうという気運を醸成し、多くの市民に医療や健康に関心をもたせることに貢献している。
特定非営利活動法人 癒し憩いネットワーク	福岡県	写真や動画を用いた”癒し・憩い”のコンテンツを制作し、美しい画像の数々を無償で送り、患者やそのご家族などの人生の質(Quality Of Life)の向上に貢献している。
NPO法人 熊本DARC	熊本県	薬物など依存症対策に真摯に向き合い当事者家族に対し伴走型支援を実践し、熊本地震では最大被災地の益城町に入りアルコール依存等に悩み苦しむ本人や家族に寄り添い、こころのケアに貢献している。
一般社団法人 沖縄県助産師会	沖縄県	行政との連携により、有床助産所運営、沖縄県女性健康支援センター事業、思春期性教育、離島の巡回妊婦健診、若年妊産婦の居場所事業、産前産後ケア事業受託等、多岐にわたって地域の母子保健事業に貢献している。
向山 秀樹	神奈川県	地域に在住する外国人家族と地域住民の架け橋となり、自らの診療所の開放や、22カ国外国人問診表を作成し、全国に無料で配布した。また、重い病気を抱えた家族の海外移住には、日本と同等の治療ができるように努力するなど、海外での治療の道の開拓に貢献している。
植松 潤治	滋賀県	医師として障害児者医療への研究・治療を実践し、近年は在宅障害児者医療を積極的に推進した。さらには滋賀県障害児者と父母の会の活動を通して福祉環境整備に貢献している。
埜田 和史	滋賀県	過重な負担による手話通訳者の頸肩腕障害発症を発見し、長きに渡り相談・検診や追跡調査に邁進する傍ら、全国各地で講師活動을続け、手話通訳者の健康を守るルールを普及させ、手話通訳者の健康管理制度の構築に貢献している。
足立 光平	兵庫県	地域住民の健診・検査データ・パーソナルヘルスデータを一元化し、それらを個人同意の下、必要に応じ供覧することで、いつでもどこでも、良質な保健医療福祉サービスを受けられるシステムの構築・維持・発展に貢献している。
岡本 新悟	奈良県	バングラデシュの無医村に病院を設立した他、マンゴー園を建設し医療費を払えない患者の援助とした。また、身寄りのない寡婦の為にホームを建設し、生活の糧が得られる枠組を構築する等、バングラデシュの医療と福祉の充実に貢献した。